

日南町の医療



昨年の秋に一旦立ち止まった新しい日南病院の計画延期後、将来の広域医療体制等の検討を重ね、日野郡での基本的合意に至りました。

日南病院はどうなるの？

「郡内での役割分担が決まったけど、日南病院で受けられる医療は変わるの？」

そんな不安や疑問をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。

令和8年9月、日野郡の医療、福祉関係者や首長でつくる「医療・福祉・介護のあり方を考える会」において、郡内の医療機関が担う役割について一定の方向性がまとまりました。

日野郡の医療を

「3つの医療機関」で支える

基本理念

日野郡内で必要な医療機能を、郡内の医療機関が役割分担と相互補完により確保する。

日野郡では、すべての医療機能を一つの病院に集めるのではなく、それぞれの病院が役割分担を行い、必要な時には病院同士が連携することで、地域全体として医療を守っていきます。

●ベッドを有する2病院の具体的な役割分担

日野病院

手術やMRIなどの高度な検査、専門外来、2次救急に対応する日野郡の急性期医療の砦
「高度医療・救急・教育の拠点」

日南病院

高齢者等の1.5次救急、リハビリ、看取り、在宅医療を支える生活を含めて支える

「地域包括ケア・慢性期／回復期の拠点」

日南病院が担う役割

日南病院は、地域医療を支える大切な拠点です。病床機能としては、1病棟体制とした慢性期・回復期を中心に住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための医療を継続します。

- ◆暮らしに近い場所で医療を支える
- ◆一定の救急体制を継続する
- ◆「現在の病院機能」を基本的に引き継ぐ

